

自分たちの地区は自分で守ろう 町防災訓練 in 上町・新町

- 1 人形を使用しての応急手当訓練。女性消防隊員の指導で、意識がなく、呼吸も停止している人を見つけた場合の心肺蘇生法やAEDの使用方法を学びました。
- 2 消火器を使った初期消火訓練。消火器は使ったことがないという参加者がほとんどでしたが、消防団員の指導のもと、実際に消火を体験しました。
- 3 家族などに無事を伝える伝言ダイヤル（NTT）の体験。
- 4 最上川中部水道企業団の協力による応急給水訓練。



10月23日、上町・新町地区を主会場に、町防災訓練が行われました。訓練は、「山形盆地断層帯を震源域とする大規模な地震が発生した」という設定で、「町内全域で建物崩壊や火災が発生したほか、電気・通信・水道等のライフライン停止」などの被害を想定して実施。町、消防団、地区住民が一体となって訓練を開始しました。

参加者は、災害を知らせるサイレンで、避難所に指定されている地区公民館等に集合。その後、災害が拡大したことにより、避難している公民館にも危険が及ぶおそれがあると想定し、さらに長崎小学校への集団避難訓練を行いました。参加者は、高齢者と歩幅を合わせ一緒に避難するなど互いに助け合いながら、地区役員や消防団員の誘導に従って避難していました。

長崎小学校への避難が完了すると、グラウンドや体育館で初期消火訓練や災害用伝言ダイヤルの体験、負傷者の応急手当訓練など、本番さながらの訓練を行いました。そのほか、消防団員による消火訓練、最上川中部水道企業団による応急給水訓練など、様々な訓練が併せて行われました。

万が一の事態が発生したときに役立つのがこうした訓練です。14～15ページで、地震発生時の対応や備えについて紹介していますので、皆さんも家庭で非常用持ち出し袋などを用意したり、地元の防災訓練や研修会に積極的に参加するなど、日ごろからできる対策をし、非常時に備えましょう。



上町・新町自主防災会
高橋 賢治 会長

上町・新町の自主防災会は平成27年4月に組織し、今回が初めての防災訓練です。自助・共助の精神のもと、被害を最小限に留めるのが私たちの役目だと考えています。今後も継続して訓練を実施し、地区民の防災意識を高めるきっかけになればと思います。

東日本大震災以来、非常持ち出し品や備蓄品の用意は普段からしていますが、こういった訓練は初めて参加し、消火栓を使っての消火も体験しました。いざというときは自分の身は自分で守ることを忘れず、万が一に備えたいと思います。



日下部滞さん、
憂人くん

10月10日・11日の2日間、中山町がグラウンド・ゴルフの振興の町であることを全国に発信するとともに、プレイヤー同士の親睦と交流を深め、健康の輪を広げることを目的に「第6回全国ひまわり杯グラウンド・ゴルフ大会」が開催されました。

大会には、県内外から308名のグラウンド・ゴルフ愛好者が参加し、2日間で6コース、計48ホールを回り、合計打数でスコアを競いました。

競技が始まると、日ごろの練習の成果を競い合いながら和気あいあいとプレーする様子が見られ、あちこちで歓声や笑い声が聞こえていました。中には、慣れないコースに実力が発揮できず、四苦八苦している参加者もいましたが、同じ班の仲間同士で励ましあい、秋晴れの空の下、楽しげに汗を流していました。



上位10名の皆さん。おめでとうございます。

上位入賞おめでとうございます！ 大会結果（上位10名）

順位	氏名（敬称略）	市町村
1	仲 嶋 弘 志	村山市
2	奥 山 正	村山市
3	佐 藤 忠 勝	山形市
4	内 藤 勝 子	中山町
5	佐 藤 啓 二	中山町
6	高 橋 周 雄	東根市
7	石 川 慶 治	中山町
8	鈴 木 三 郎	宮城県
9	白 幡 征 一	山形市
10	橋 本 孝 一	中山町

競技終了後の表彰式では、上位50名を表彰。一人一人に森谷副町長から表彰状と賞品が手渡され、表彰される選手の名前が読みあげられるたびに拍手がわき起こり、盛り上がりを見せていました。



吉田美保子さん（新潟県）

この大会に出るのは初めてです。慣れないコースなので感覚をつかむのに少し時間がかかりましたが、芝の手入れが行き届いていてプレーしやすかったです。来年もまた出場したいと思います。

照沼 義美さん（茨城県）

昨年に続き2回目の出場です。全国から愛好者が集まり、グラウンド・ゴルフを通して多くの方と親睦を図ることができました。今年は昨年知り合った方に声を掛けていただき、とても嬉しかったです。



全国ひまわり杯 グラウンド・ゴルフ大会

スポーツで交流を深めよう！